

| | | | | | |
|---------|---|------------------|------|---------------|------|
| 科目名 | 社会福祉論1（保育士必修：社会福祉士必修） | | | | |
| 授業形態 | 講義 | 学年 | 1 | | |
| 開講時期 | 2023年度 後期 | 単位数 | 2 | | |
| 担当教員 | 佐々木 誠二 | | | | |
| 内容および計画 | <p>【授業の目的】 社会福祉・児童福祉、保育に共通する理念を理解するために、社会福祉の歴史の変遷に触れ、現在の社会福祉や社会保障、関連制度について学ぶとともに、相談援助等について学ぶことを目的とします。</p> <p>【授業方法】 本講義では主にパワーポイントでの資料提示を行いながら講義形式で進めます。</p> | | | | |
| 1 | ガイダンス・社会福祉の理念と歴史の変遷 講義の趣旨説明及びスケジュールの確認を行います。社会福祉とは何か、どのような理念で実践されているのかについて学びます。 | | | | |
| 2 | 子ども家庭支援と社会福祉 家庭を支援していくことの重要性について学び、実際の仕事を通して子ども家庭支援について考えます。 | | | | |
| 3 | 社会福祉の制度と法体系 日本の社会福祉の法制度の体系を整理し、制度・法律の種類、位置づけ、役割について基礎知識を身につけます。 | | | | |
| 4 | 社会福祉行財政と実施機関、社会福祉施設等 行政機関がどのような制度を整備しているのか、福祉事務所や児童相談所をはじめとする相談機関から学びます。 | | | | |
| 5 | 社会福祉の専門職 社会福祉分野における専門職とは何かについて学びます。また、資格の定義や役割・機能等を根拠となる法律から理解します。 | | | | |
| 6 | 社会保障および関連制度の概要 社会保障制度の「対象」「分野」「方法」「役割」について理解を深めます。 | | | | |
| 7 | 相談援助の理論 相談援助技術の理論について、その成り立ちや理論の発展過程について学びます。 | | | | |
| 8 | 相談援助の意義と機能 「相談援助」とは何か、その意義と機能から理解を深めます。 | | | | |
| 9 | 相談援助の対象と過程 相談援助過程における援助者としての態度や援助者として意識していきたい視点を理解します。 | | | | |
| 10 | 相談援助の方法と技術 保育現場において保育者が相談援助の方法と技術を用いた支援を行うことの強みと関係機関との連携における課題について考えます。 | | | | |
| 11 | 社会福祉における利用者の保護にかかわる仕組み 福祉サービスの提供にあたって規定されている利用者保護にかかわる制度の背景や法的根拠等を学びます。 | | | | |
| 12 | 少子高齢化社会における子育て支援 少子化の現状を確認し、これまでの少子化対策の展開と少子化対策における保育所の役割について学びます。 | | | | |
| 13 | 共生社会の実現と障害者施策 障害のとらえ方と日本における障害者の現状を確認し、国際的な理念としての「インクルージョン」とそのなかで保育士に期待される役割について学びます。 | | | | |
| 14 | 在宅福祉・地域福祉の推進 地域福祉という考え方やその実践方法を学びます。 | | | | |
| 15 | 諸外国の動向と全体のまとめ 「福祉国家」について、3つの類型を理解します。本講義全体のまとめと振り返りを行います。 | | | | |
| 教科書 | | | | | |
| | タイトル | 著者名 | 出版社 | ISBN | 発行年 |
| | 社会福祉第2版（新・基本保育シリーズ4） | 公益財団法人児童育成協会（監修） | 中央法規 | 9784805887875 | 2023 |

| | | | | |
|--|--------------------------|--|--|--|
| | 松原康夫（編集）・坪洋一（編集）・金子充（編集） | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

配布する講義資料をベースに授業を勧めます。テキストは講義内容の理解を深めるものに活用してもらいます。
 ※社会福祉士取得希望者は『最新社会福祉士養成講座 精神保健福祉士養成講座4 社会福祉の原理と政策』（中央法規）があるとより良いと思います。

| | |
|------------|---|
| 参考書 | 『社会福祉小六法 2023』 ミネルヴァ書房 『社会福祉学』（平岡公一・杉野昭博・所道彦・鎮目真人）有斐閣 その他 |
|------------|---|

| 成績評価 | |
|------------|-------|
| 評価方法 | 割合(%) |
| レポート | 70 |
| リアクションペーパー | 30 |
| | |
| | |
| | |

リアクションペーパーは授業中に配布・回収を行います。

| | |
|---------------|---|
| 学習到達目標 | (1) 現代社会における社会福祉の意義と歴史の変遷及び社会福祉における子ども家庭支援の視点について理解できる。 (2) 社会福祉の精度や実施体系等について理解できる。 (3) 社会福祉における相談援助について理解できる。 (4) 社会福祉における利用者の保護に関わる仕組みについて理解できる。 (5) 社会福祉の動向と課題について理解できる。 |
| 先修条件 | 特になし。 |
| 実務経験 | 実務経験あり：児童相談所、地域包括支援センターで勤務した経験をもとに、ソーシャルワークを関連させながら社会福祉の基礎について教授する。 |
| その他 | 授業展開は予定です。授業の進度などにより、内容などが変更される場合もあります。 |